

The Japan Nursing Ethics Association

# 日本看護倫理学会 第9回年次大会

大会テーマ

## 看護における “アドボカシー”を問う

会 期 2016年5月21日(土)・22日(日)

会 場 京都テルサ

大会長 田村 恵子 [ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 ]  
臨床看護学講座 緩和ケア・老年看護学 教授

---

事務局 京都橘大学 看護学部  
(日本看護倫理学会 第9回年次大会 事務局)  
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34  
TEL&FAX : 075-574-4253

大会HP URL <http://jnea9th.umin.jp/>



# ご 挨拶

この度の熊本地震により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
被災された地域の皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

日本看護倫理学会第9回年次大会を会員、関係者の皆様のご支援・ご協力を賜り、  
2016年5月21日・22日の2日間、京都市で開催できますことを心より感謝申し上げます。

本大会のテーマは、「看護における“アドボカシー”を問う」と致しました。

周知の通り、わが国は、他国に例を見ないスピードで超高齢・多死社会を迎えています。このため、2025年を目処に、高齢者の尊厳の保持と自立した生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括システムの構築が急ピッチで進められています。また、2013年8月には社会保障制度改革国民会議報告書がまとめられ、これからの地域医療再編成の基本的な方向は「病院完結型医療から地域完結型医療へ」であることが明確となりました。

こうした国の方針を受けて、病院や地域においては、退院支援や退院調整が積極的に行われていますが、こうした退院をめぐる支援や調整は本当に患者の意向に沿っているのか、患者の権利を守ることができるのか、患者を真に尊重しているのかなど、看護師は疑問を覚えジレンマを感じることも少なくありません。

このような趣旨で、長く緩和ケアの臨床で患者や家族と関わってこられた石垣靖子先生に基調講演を、看護におけるアドボカシーの概念についての教育講演を品川哲彦先生にお願い致しました。海外招聘講演は、Christine Mitchell 先生 (Harvard Medical School) が「Challenges to Ethical Nursing Practice (倫理的な看護実践が試される時)」と題してお話くださいます。大会テーマについて議論を深める上で示唆に富んだ講演をお聞きできるものと楽しみにしております。さらに、大会テーマについて探究を深めていただけるよう、シンポジウムⅠでは地域連携に日々奮闘しておられる3人の先生方に、シンポジウムⅡではアドボカシーを進めていくための極意を4人の先生方に、その実際を含めて活発な議論を展開していただけるものと思っています。また、看護倫理に関する身近なテーマについて、参加者同士がface to faceで活発に話し合うことのできる場として、5つの交流集會が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。会員の皆様から多数の登録演題の応募をいただきました。口演、示説のいずれかで発表いただきます。

「看護における“アドボカシー”を問う」のテーマのもと、皆様と共に活発な議論ができますことを願っております。



日本看護倫理学会第9回年次大会  
大会長 田村 恵子  
京都大学大学院医学研究科 教授

# 目 次

ご挨拶	3
日本看護倫理学会第9回年次大会のご案内	5
一般演題発表者の方へのご案内	7
交流集会発表者と責任者の方へのご案内	9
会場案内図	10
日程表	12
プログラム一覧	
日本看護倫理学会第9回年次大会 プログラム	14
一般演題示説	19
ランチョンセミナー	22
大会長講演	23
基調講演	27
海外招聘講演	31
教育講演	35
シンポジウムⅠ	39
シンポジウムⅡ	45
交流集会	51
一般演題口演	59
一般演題示説	89
日本看護倫理学会第9回年次大会委員	120
共催企業・団体一覧	121

.....

## 日本看護倫理学会第9回年次大会のご案内

.....

### 【参加受付】

#### 1. 参加受付時間

- (1) 参加者の受付は、京都テルサ西館 1F エントランスにて行います。
- (2) 受付時間は、下記の通りです。

日程	受付開始時刻
5月21日(土)	10:00
5月22日(日)	8:30

#### 2. 事前申込された方へ

- (1) 事前に送付されたネームカードを当日ご持参ください。
- (2) 会場内ではネームカードを必ず着用ください。
- (3) 一度払い込まれた参加費等の返金には応じられませんのでご了承ください。

#### 3. 当日受付をされる方へ

- (1) 当日参加受付で年次大会参加費をお支払いください(講演集代1,000円含む)。  
なお、学部学生は学生証をご持参の上、受付にてご提示ください。

会 員	9,000円
非会員	10,000円
学部学生	2,000円

- (2) 受付で配布したネームカードに必要事項を記載し、会場内ではネームカードを必ず着用ください。
- (3) 領収証はネームカードと一緒に綴られています。別紙にて発行することはいたしかねます。

### 【ランチョンセミナー】

5月22日のみランチョンセミナーを開催いたします。

当日8:30に各セミナーの参加チケット(無料)を1階受付において配布いたします。

参加を希望される方は、必ずチケットをお持ちの上、各セミナー会場にお越しください。

紛失された場合の再発行は致しません。

第1会場 350枚(共催:あゆみ製薬株式会社)

第2会場 100枚(共催:ニプロ株式会社)

第3会場 100枚(共催:プラチナブ株式会社)

第4会場 60枚(共催:アルケア株式会社)

### 【クローク】

東館 1F 第 9 会議室にてクロークを行います。尚、傘・貴重品のお預かりはいたしかねますので御了承ください。

日時：5月21日（土） 10：00～18：00

5月22日（日） 8：30～15：40

### 【救護について】

必要時には最寄のスタッフ、または総合受付にお申し出ください。

### 【災害発生時について】

1. 災害発生時は各会場でアナウンスがありますので、それに従ってください。
2. 災害発生時はエレベーターを使用しないでください。

### 【その他】

1. 会場内での呼び出しは行いません。受付付近に連絡板を設置いたしますのでご活用ください。
2. 発表者の許可を得ずに、発表に関わる撮影・録音を行うことはご遠慮ください。
3. 会場近隣に有料の駐車場がございますが、台数に限りがございます。出来る限り公共交通機関をご利用ください。
4. スタッフは赤色のネームカードをつけております。お困りの際にはお声掛けください。

.....

## 一般演題発表者の方へのご案内

.....

### 1. 一般演題・口演発表者の方へ

#### 1) 発表時に使用できる機材

- (1) 発表はすべて大会側で用意するパーソナルコンピュータ（以下 PC）を使用した発表のみとさせていただきます。
- (2) 事務局で用意する PC の OS は Windows 7 です。他の PC は使用できないのでご注意ください。

#### 2) 発表用にご準備いただくファイル

- (1) 発表用のファイルは Microsoft PowerPoint で作成し、ファイル形式は .ppt または .pptx としてください。
- (2) 大会側で用意する PC には Windows 標準である MS 明朝・MS ゴシック・MS P 明朝・MS P ゴシックの 4 つの日本語フォントがインストールされております。これ以外のフォントをご使用されると、文字化け、レイアウト崩れの原因となる可能性があるのでご注意ください。
- (3) ファイル名は「演題番号」に続けて「発表者氏名」をフルネームで記載したものにしてください。（例：75-8 京都太郎 .pptx）
- (4) 発表に際して、動画・音声の使用、OHP、OHC の使用や資料配布はできません。

#### 3) 演者受付について

- (1) 発表当日は、下記の受付時間内に演者受付を済ませてください。演題受付場所は、1 階テールサホール前です。混雑をさけるために、出来る限り余裕を持って受付にお越し下さい。また受付が混み合っている場合は、発表時間の早い方より受付手続をさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承の程よろしくお願い申し上げます。

##### 【受付時間】

5 月 21 日（土） 10：00～17：00

5 月 22 日（日） 8：30～12：00

- (2) 発表用のデータは演者受付時にお預かりします。USB フラッシュメモリーを持参ください。  
※バックアップのデータを必ずお持ちください。  
※データ作成に使用した PC 以外での事前動作確認を行ってください。  
※受付時点でのレイアウト崩れ、文字化け等に関して大会事務局側では一切フォローができません。あらかじめご了承ください。  
※ USB フラッシュメモリーのウイルスチェックを実施してください。
- (3) 演者受付にて PC に発表データをコピーし内容を確認していただきます。

#### 4) 発表について

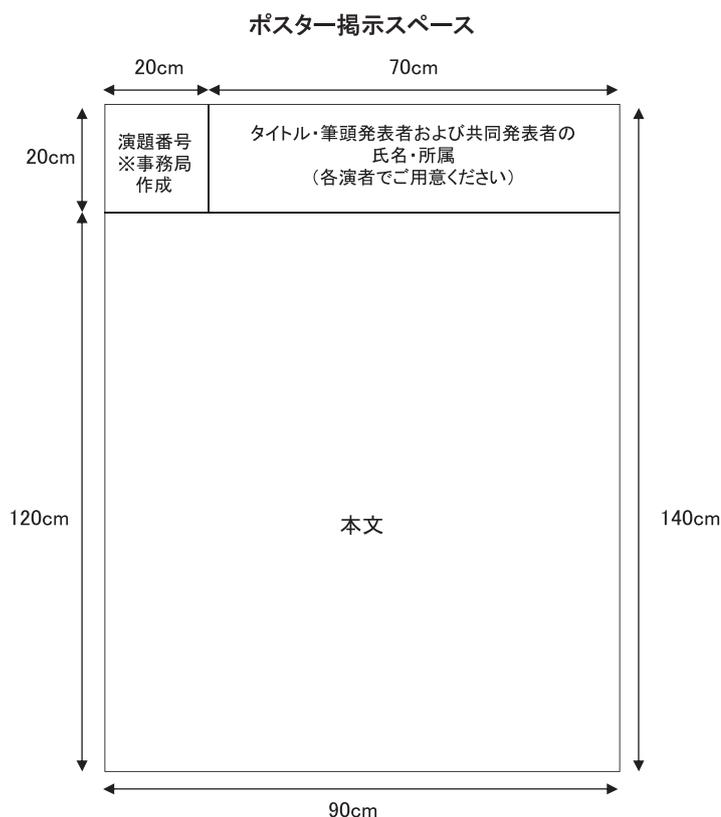
- (1) 発表者は発表セッションの開始 10 分前までに各会場の次演者席にお着き下さい。
- (2) 発表時間は一演題 15 分（発表 10 分、質疑 5 分）です。
- (3) 発表時の PC 操作は各自でお願いします。
- (4) 発表者の欠席が出た場合は繰り上げて発表していただきます。

#### 5) データの消去

発表用ノートパソコン・事務局用 USB に複製した発表データは、著作権および個人情報保護のために、発表当日の最終口演終了後に事務局が責任を持って消去いたします。

## 2. 示説（ポスター）発表される方へ

- (1) 発表者は、5 月 21 日 14:00 までに、演題番号ごとに指定された区画にポスターを貼付してください。なお、5 月 21 日 12:00 から貼付は可能です。
- (2) 1 演題あたり縦 140cm × 90cm の掲示スペースがございます（下図参照）。その範囲内にポスターを掲示してください。A3 版横の用紙ですと 8 枚貼付できます。  
※通常のポスターパネルとは縦の長さが異なりますので、ご注意下さい。
- (3) ポスターの上部に、縦 20cm × 横 70cm の大きさで、タイトル・筆頭発表者名・共同発表者名・所属を貼ってください。字の大きさは十分に読めるようにしてください。
- (4) 演題番号、掲示に使用する画鋏、発表者が胸につけるリボンは各ポスターパネルに設置しております。
- (5) 発表者はリボンを付け、示説開始時間の 10 分前までに、発表会場にお越しください。
- (6) 発表・質疑応答時間は、5 月 22 日 11 時～12 時です。この時間は必ずポスター前に待機して質問者への対応をお願いします。
- (7) 撤去時間（5 月 22 日 14:00～15:00）を過ぎたポスターは、事務局で撤去し処分させていただきますのでご了承ください。



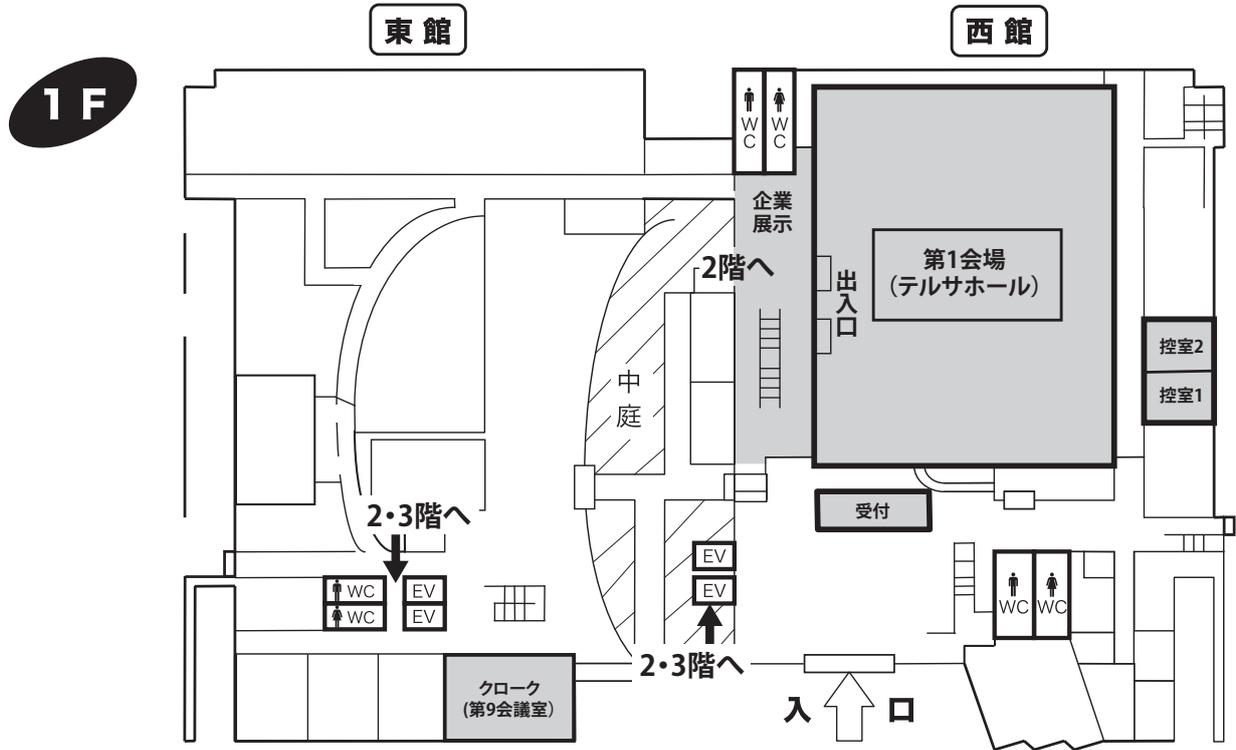
.....

## 交流集会発表者と責任者の方へのご案内

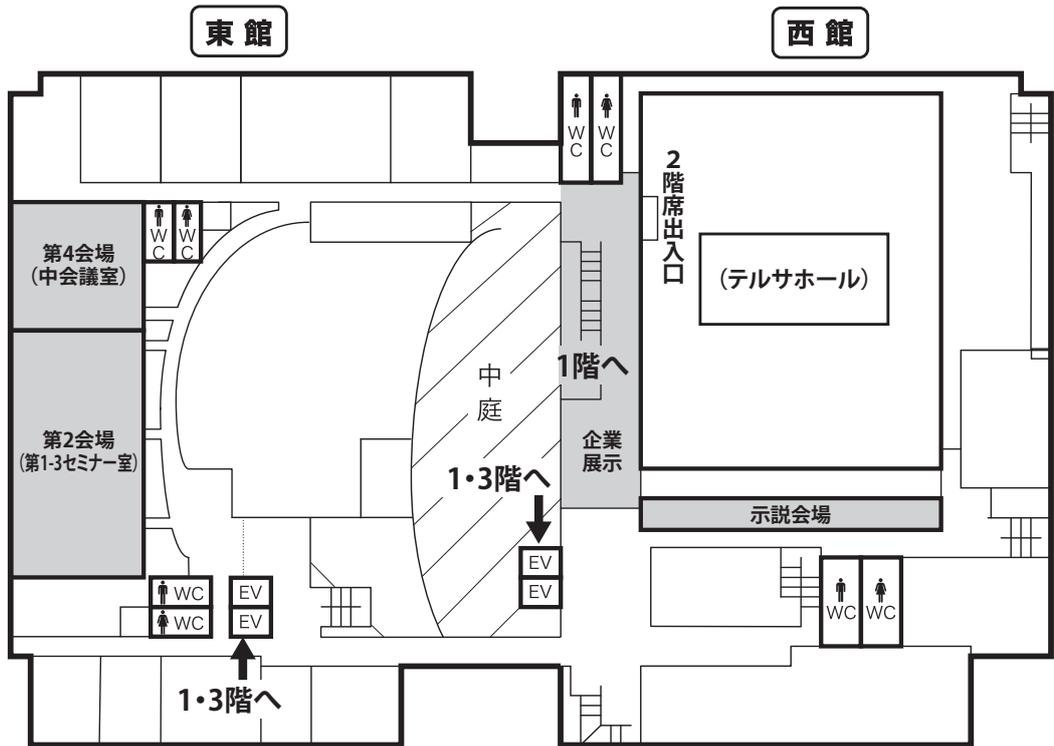
.....

1. 運営・進行は、すべて責任者に一任しております。開始 10 分前までに会場にお越しください。
2. 当日、会場のプロジェクターと PC を使用することは可能です。自身の PC をお使いいただくこともできます。
3. 会場の準備、後片付け等は、責任者が責任を持って行ってください。
4. 交流集会の時間は、60 分間といたします。
5. プログラムのとおり、時間厳守で運営してまいりますようお願いいたします。
6. 資料がある場合は、十分な部数をご準備ください。

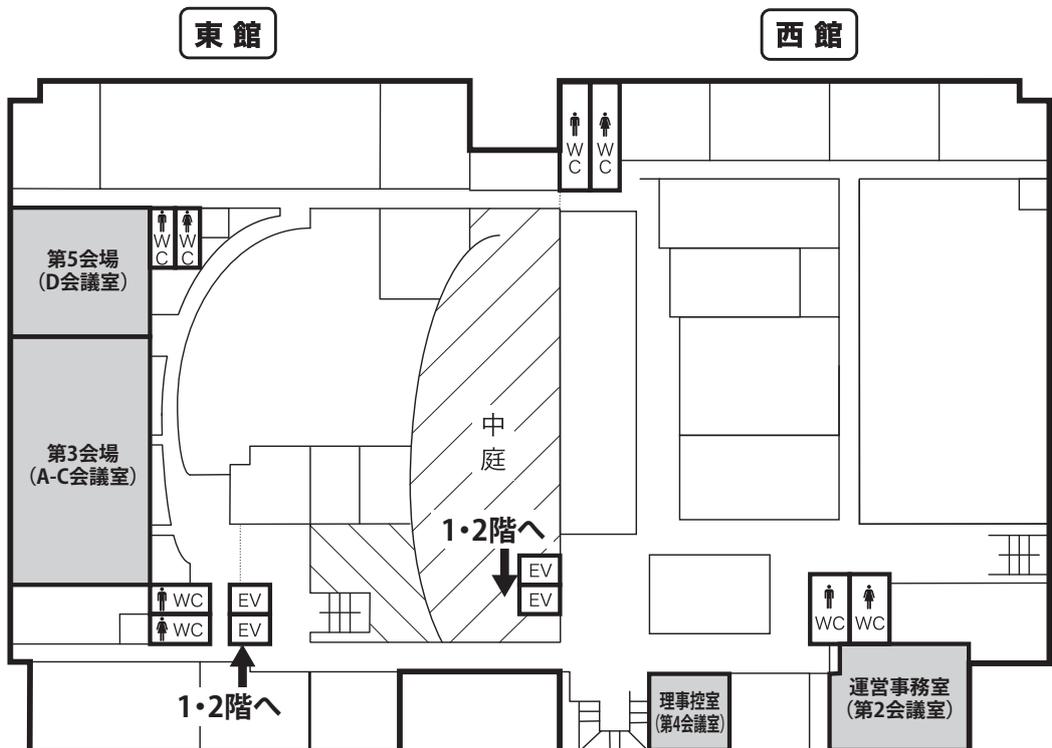
会場案内図



2 F



3 F



# 日程表 【第1日目】 2016年5月21日(土)

会場名	部屋名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
参加受付	西館1F エントランス				受付 10:00~17:00							
示説会場	西館2F ホールロビー					ポスター掲示 12:00~14:00		ポスター閲覧 14:00~17:00				
第1会場	西館1F テルサホール				総会 11:00~12:00		大会長講演 看護におけるアドボカシーとは？ がん看護専門看護師としての挑戦、そして越境 13:00~14:00		基調講演 傍らにいることを許された者として 14:15~15:15		シンポジウムⅠ 「つなぐ」「つなげる」アドボカシー：地域連携の隙をどう埋めるか 15:30~17:00	
第2会場	東館2F 第1-3セミナー室		評議会 9:30~10:30				サテライト（第1会場映像音声継） 13:00~17:00					
第3会場	東館3F A1C会議室											
第4会場	東館2F 中会議室											
第5会場	東館3F D会議室											

# 日程表 【第2日目】 2016年5月22日(日)

会場名	部屋名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
参加受付	西館1F エントランス			受付 8:30~12:00							
示説会場	西館2F ホールロビー			ポスター閲覧 9:00~14:00		ポスター発表・ 質疑応答 11:00~12:00	ポスター閲覧 12:00~14:00		ポスター 撤去 14:00~15:00		
第1会場	西館1F テルサホール			海外招聘講演 Challenges to Ethical Nursing Practice (倫理的な看護実践が試されるとき) 9:30~11:00		教育講演 ケアの倫理からみた アドボカシー概念 11:15~12:15	ランチョン セミナー1 共催：あゆみ製薬様 12:30~13:30	シンポジウムⅡ 聴くことから始めるアドボケート の極意ー生きる力が湧く聴き方と はー 13:50~15:20		閉会 の 挨拶 15:20 ~ 15:25	
第2会場	東館2F 第1・3セミナー室			一般演題 (提言) 9:30 ~ 10:15	一般演題 (アドボカシー) 10:25 ~ 11:10	一般演題 (教育) 11:20 ~ 12:05	ランチョン セミナー2 共催：ニプロ様 12:30~13:30	交流集会1 13:50~14:50			
第3会場	東館3F A1C会議室			一般演題 (行動制限) 9:30~10:30		交流集会2 11:00~12:00	ランチョン セミナー3 共催：プラチナブ様 12:30~13:30	一般演題 (終末期) 13:50~15:20			
第4会場	東館2F 中会議室			交流集会3 9:30~10:30		交流集会4 11:00~12:00	ランチョン セミナー4 共催：アルケア様 12:30~13:30	一般演題 (意識調査) 13:50~14:50			
第5会場	東館3F D会議室			一般演題 (実践) 9:30~10:45		交流集会5 11:00~12:00					

.....

# 日本看護倫理学会第9回年次大会 プログラム

平成28年5月21日(土)・22日(日)

.....

1日目：5月21日(土)

**総 会** 【11:00～12:00】

第1会場 テルサホール(西館1F)

**大会長講演** 【13:00～14:00】

第1会場 テルサホール(西館1F)

テーマ：看護におけるアドボカシーとは？－がん看護専門看護師としての挑戦、そして越境

演 者：田村 恵子(京都大学大学院医学研究科)

座 長：佐藤 禮子(関西国際大学保健医療学部)

**基調講演** 【14:15～15:15】

第1会場 テルサホール(西館1F)

テーマ：傍らに在ることを許された者として

演 者：石垣 靖子(北海道医療大学看護福祉学研究科 客員教授)

座 長：田村 恵子(京都大学大学院医学研究科)

**シンポジウム I** 【15:30～17:00】

第1会場 テルサホール(西館1F)

テーマ：「つなぐ」「つなげる」アドボカシー：地域連携の間隙をどう埋めるか

座 長：勝原裕美子(エヌケア)

パネリスト：堀内 園子(グループホームせせらぎ)

番匠千佳子(聖隷浜松病院看護部)

野口 忍(北摂総合病院)

**海外招聘講演（逐次通訳有）【9：30～11：00】**

第1会場 テルサホール（西館1F）

テーマ：Challenges to Ethical Nursing Practice（倫理的な看護実践が試される時）

演 者：Christine Mitchell

（Executive Director, Center of Bioethics, Harvard Medical School, USA）

座 長：太田 勝正（名古屋大学 大学院医学系研究科）

通訳者：小西恵美子（鹿児島大学医学部 客員研究員）

**教育講演【11：15～12：15】**

第1会場 テルサホール（西館1F）

テーマ：ケアの倫理からみたアドボカシー概念

演 者：品川 哲彦（関西大学文学部総合人文学科）

座 長：長谷川美栄子（東札幌病院）

**シンポジウムⅡ【13：50～15：20】**

第1会場 テルサホール（西館1F）

テーマ：聴くことから始めるアドボケートの極意－生きる力が湧く聴き方とは－

座 長：北村 愛子（大阪府立大学大学院看護学研究科）

竹之内沙弥香（京都大学医学部附属病院倫理支援部）

パネリスト：村田 久行（京都ノートルダム女子大学 名誉教授）

小迫富美恵（横浜市立市民病院）

稲野 聖子（市立池田病院）

濱戸真都里（緩和ケア訪問看護ステーション架け橋）

**交流集会1【13：50～14：50】**

第2会場 第1－3セミナー室（東館2F）

テーマ：日本看護倫理学会 臨床倫理ガイドライン試行実施状況報告

－医療や看護を受ける高齢者の尊厳を守るためのガイドライン・身体拘束予防ガイドライン－

演 者：長谷川美栄子（東札幌病院）

**交流集会2【11：00～12：00】**

第3会場 A－C会議室（東館3F）

テーマ：看護倫理を考えるための組織的取組みの実際

～今、皆さんの施設では、どのような倫理的な実践を心がけていますか～

演 者：北村 愛子（日本看護倫理学会学術活動推進委員会）

**交流集会3【9：30～10：30】**

第4会場 中会議室（東館2F）

テーマ：文章を書いてみよう！論文を書いてみよう！学会誌に投稿してみよう！

演 者：大出 順（日本看護倫理学会編集委員会）

#### 交流集会 4 【11:00～12:00】

第4会場 中会議室（東館2F）

テーマ：看護倫理教育の課題—学部教育と臨床をどうつなげるか

演者：堀井 泰明（天使大学大学院看護栄養学研究科）

#### 交流集会 5 【11:00～12:00】

第5会場 D会議室（東館3F）

テーマ：看護研究における倫理を一緒に学び考えましょう

演者：有江 文栄（文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室／上智大  
学生命倫理研究所）

#### 一般演題口演（提言）【9:30～10:15】

第2会場 第1-3セミナー室（東館2F）

座長：北村 愛子（大阪府立大学大学院看護学研究科）

##### O1-1 教育と研究の相克：手段の目的化ないしはルール化

前田 樹海 [東京有明医療大学]

##### O1-2 看護における〈ケアリング〉の基底原理への視座—〈ケアリング〉とは何か—

西田 絵美 [奈良学園大学保健医療学部]

##### O1-3 看護倫理学における倫理的感受性と道徳的感受性の意味

神徳 和子 [学校法人香川学園宇部フロンティア大学]

#### 一般演題口演（アドボカシー）【10:25～11:10】

第2会場 第1-3セミナー室（東館2F）

座長：井沢 知子（京都大学医学部附属病院看護部）

##### O2-1 ナースのアドボカシー役割の文献検討～臨床上の実践に焦点をあてて

倉持 裕子 [大阪病院]

##### O2-2 救命救急センターに搬送された代諾者のいない高齢者救急医療における 専門看護師が行う倫理調整

永友 舞 [神戸市立医療センター中央市民病院]

##### O2-3 倫理的意思決定における看護チームのアドボカシーの様相

綾田美紗姫 [日本赤十字社医療センター]

#### 一般演題口演（教育）【11:20～12:05】

第2会場 第1-3セミナー室（東館2F）

座長：山下 早苗（防衛医科大学校 医学教育部）

##### O3-1 倫理教育を日々の看護実践にどのように生かすか：小児看護学実習での取り組み

中馬 夕佳 [鹿児島大学医学部保健学科]

##### O3-2 臨床倫理シート活用の実践報告

砂畑 文子 [JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院]

##### O3-3 クリニカルラダーに倫理事例検討会を取り入れた効果と今後の課題

中 滉子 [岡波総合病院]

**一般演題口演（行動制限）【9：30～10：30】**

第3会場 A-C会議室（東館3F）

座長：長谷川美栄子（東札幌病院）

- O4-1 行動制限最小化に向けた取組みと成果  
馬嶋 巧 [東京都立神経病院]
- O4-2 観察用カメラでモニタリングされる患者の心理  
～患者の思いに配慮した看護をめざした現状調査～  
宮川 尚子 [市立札幌病院]
- O4-3 急性期病院における離床センサー使用と道徳的感受性について  
奥本 綾香 [京都大学大学院医学研究科]
- O4-4 整形外科疾患をもつ高齢者の身体抑制の予防的対応  
玉山 清美 [大分県立病院]

**一般演題口演（終末期）【13：50～15：20】**

第3会場 A-C会議室（東館3F）

座長：久保田聡美（高知県立大学大学院看護研究科）

- O5-1 認知症終末期医療における意思決定支援での課題  
加茂ふみ子 [株式会社コメディカ ハピネス訪問看護ステーション]
- O5-2 「自然に逝きたい」という患者の思いを尊重した意思決定支援  
千葉 美穂 [岩手県立磐井病院]
- O5-3 DNR に対する医師、看護師の考えの比較：肺炎の急変患者の事例を通じた検討  
森田 和夫 [市立川西病院]
- O5-4 新人看護師が患者の死後に抱いた感情に対する対処方法とその後の感情変化  
中里 静佳 [旭川赤十字病院]
- O5-5 意思決定を支える早期からの在宅緩和ケア  
占部久仁子 [渡辺緩和ケア・在宅クリニック]
- O5-6 大学病院における看護師の「心肺蘇生を試みないこと」に関する現状調査  
井沢 知子 [京都大学医学部附属病院]

**一般演題口演（意識調査）【13：50～14：50】**

第4会場 中会議室（東館2F）

座長：坂田 三允（多摩あおば病院）

- O6-1 看護倫理に対する意識の変化～看護倫理アンケート調査より～  
川上有香子 [JA 静岡厚生連遠州病院]
- O6-2 臨床看護師における倫理的問題の体験とその対応  
長崎恵美子 [川崎医療福祉大学]
- O6-3 精神科看護師の倫理的な知識・認識・態度及び倫理的感受性の関連要因  
遠藤 太 [帝京大学医療技術学部]
- O6-4 A 病院における看護倫理に対する看護師の認識度調査  
窪田 仁美 [松山市民病院]

座長：大串祐美子（東札幌病院）

- O7-1 看護倫理委員会メンバーの実践－病棟看護師の患者志向を生み出す働きかけ－  
藤木 輪子 [日本赤十字社神戸赤十字病院]
- O7-2 倫理的ジレンマを検討することで継続看護に繋がった1事例  
山下 咲映 [亀岡市立病院]
- O7-3 精神疾患を抱える高齢患者の意思決定に向けての倫理調整  
～保護責任者が入院中にある患者の事例を通して～  
岡野 照美 [大阪大学医学部附属病院]
- O7-4 ERにおける倫理カンファレンスの実際  
上澤 弘美 [土浦協同病院]
- O7-5 日本看護倫理学会臨床倫理ガイドラインの試行の状況と試行参加者の反応の変化  
友竹 千恵 [日本看護倫理学会臨床倫理ガイドライン検討委員会／目白大学  
看護学部]

.....

# 一 般 演 題 示 説

平成28年 5月21日(土)・22日(日)

会 場 ● 示説会場 ホールロビー(西館2F)

.....

## 委員会活動

- |      |  |
|------|--|
| P1-1 | 手術室倫理委員の実践<br>－《善いこと倫理》を用いた手術室看護師の倫理に対する苦手意識の改善－<br>毛利 恵 [日本赤十字社神戸赤十字病院] |
| P1-2 | 当院における看護倫理委員会の取り組み<br>～部署内倫理事例検討会の定着を目指して～<br>山口 佳苗 [京都第一赤十字病院]          |
| P1-3 | 看護倫理委員会活動報告<br>青山めぐみ [愛知医科大学病院]  |
| P1-4 | 看護倫理に対する看護師の認識と委員会活動のあり方<br>藤内 眞理 [岐阜県総合医療センター]                          |

## 継続教育

- |      |  |
|------|--|
| P2-1 | アサーショントレーニングを取り入れた看護倫理研修の成果(第1報)<br>真継 和子 [大阪医科大学看護学部]                   |
| P2-2 | 新入職者教育として実施した倫理研修の評価<br>原田 洋美 [西能病院]                                     |
| P2-3 | 専門看護師が行う新人看護師を対象とした看護倫理研修〈報告1〉<br>－実践と研修の評価－<br>原 美穂 [久留米大学病院]           |
| P2-4 | 専門看護師が行う新人看護師を対象とした看護倫理研修〈報告2〉<br>－研修の効果 倫理的行動尺度を使用して－<br>原 美穂 [久留米大学病院] |
| P2-5 | 臨床倫理について語り合い、臨床倫理の苦手意識を軽減させる試み<br>中藤 裕美 [大阪市立大学医学部附属病院]                  |
| P2-6 | 倫理研修9年間の評価と課題<br>安藤 恵美 [北見赤十字病院]   |

## 学部教育

- P3-1 医療機関で遭遇する身体拘束に対する看護学生の認識  
小野 美喜 [大分県立看護科学大学]
- P3-2 大学卒業時に看護学生が捉えている看護倫理  
泉澤 真紀 [旭川大学保健福祉学部]
- P3-3 小児看護実習で活用した倫理問題記録の内容の検討～学生の記載内容から～  
土路生明美 [県立広島大学保健福祉学部看護学科]
- P3-4 看護学教育で教授する患者権利擁護について  
北端 恵子 [朝日大学保健医療学部]

## 行動制限

- P4-1 身体拘束監査表を用いた実態調査  
金山 直美 [大阪赤十字病院]
- P4-2 身体抑制に関する病棟看護師の行動変容 ～倫理学習会の成果～  
高橋早奈恵 [大曲中通病院]
- P4-3 薬剤による身体拘束を解除できた認知症を持つ高齢がん患者への看護  
青田 美穂 [東札幌病院]

## 実践

- P5-1 外来における看護倫理の現状分析と課題  
菅原 玉枝 [名寄市立総合病院]
- P5-2 介護福祉士として倫理的行動をとる姿勢  
小出えり子 [富山福祉短期大学]
- P5-3 中小規模病院の看護師長の経験に含まれる倫理的問題と対応の関連  
前田 朝子 [天使大学看護栄養学部]
- P5-4 療養病棟・ホスピス病棟看護師の倫理的行動の違い  
赤木 郁子 [外旭川病院]

## 終末期

- P6-1 集中治療期から終末期へ移行する患者の意思決定支援  
松藤 香 [久留米大学病院高度救命救急センター]
- P6-2 多重がん患者の治療選択に関するがん看護専門看護師の意思決定支援と調整について  
竹内 可愛 [岩手医科大学附属病院]
- P6-3 終末期がん患者の退院支援における病棟看護師の役割発揮の現状と課題  
林 かよこ [川崎医科大学附属病院]
- P6-4 特別養護老人ホームで働く看護師の終末期における家族との関わりに大切となる能力  
西部由里奈 [大分県立看護科学大学]

## メンタルヘルス

- P7-1 海外就労フィリピン人女性ケア・ワーカーのメンタルヘルス：個人の家族観より  
蔡 小瑛 [梅花女子大学看護保健学部]
- 
- P7-2 婦人科がん術後リンパ浮腫予防を目的とした電話相談内容分析  
就労支援サポートプログラム考案に向けて  
佐藤真由美 [亀田医療大学看護学部]
- 

## 研究動向

- P7-3 看護師を対象としたインフォームドコンセントに関する教育の文献検討  
田島 康子 [福岡大学医学部]
- 
- P7-4 看護倫理の研究動向  
佐藤 聖一 [桐生大学医療保健学部]
-

.....

## ランチョンセミナー

平成 28 年 5 月 22 日 (日)

.....

共催：あゆみ製薬株式会社

ランチョンセミナー 1 【12：30～13：30】

第 1 会場 テルサホール (西館 1F)

<テーマ>

Whole Person Care による臨床と教育のパラダイムシフト

～心を整え、心を開き、心を込める～

座 長：任 和子 (京都大学大学院医学研究科)

演 者：恒藤 暁 (京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター)

共催：ニプロ株式会社

ランチョンセミナー 2 【12：30～13：30】

第 2 会場 第 1 - 3 セミナー室 (東館 2F)

<テーマ>

新人看護師の倫理教育に模擬患者を活用する効果

座 長：梶谷 佳子 (京都橘大学)

演 者：笠松 由利 (兵庫医科大学病院)

木下 佳郁 (兵庫医科大学 SP (模擬患者) 会)

共催：プラチナブブ株式会社

ランチョンセミナー 3 【12：30～13：30】

第 3 会場 A - C 会議室 (東館 3F)

<テーマ>

QOL を高めてご機嫌で生きるコツ

～現場で役立つルーティン～

演 者：辻 秀一 (スポーツドクター／株式会社エミネクロス)

共催：アルケア株式会社

ランチョンセミナー 4 【12：30～13：30】

第 4 会場 中会議室 (東館 2F)

<テーマ>

看護は臨床知と科学知との統合だ！

座 長：判澤 恵 (京都橘大学 看護教育研修センター)

演 者：道又 元裕 (杏林大学医学部附属病院)